



通信 みんなのひろば

No.9



木更津市議会議員 田中のりこ

発行: 通信 No.9 2025 年初夏号
 田中のりことみんなの会
 TEL : 070-2172-8480(連絡・活動用)
 MAIL : tanaka-noriko@live.jp



ブログ



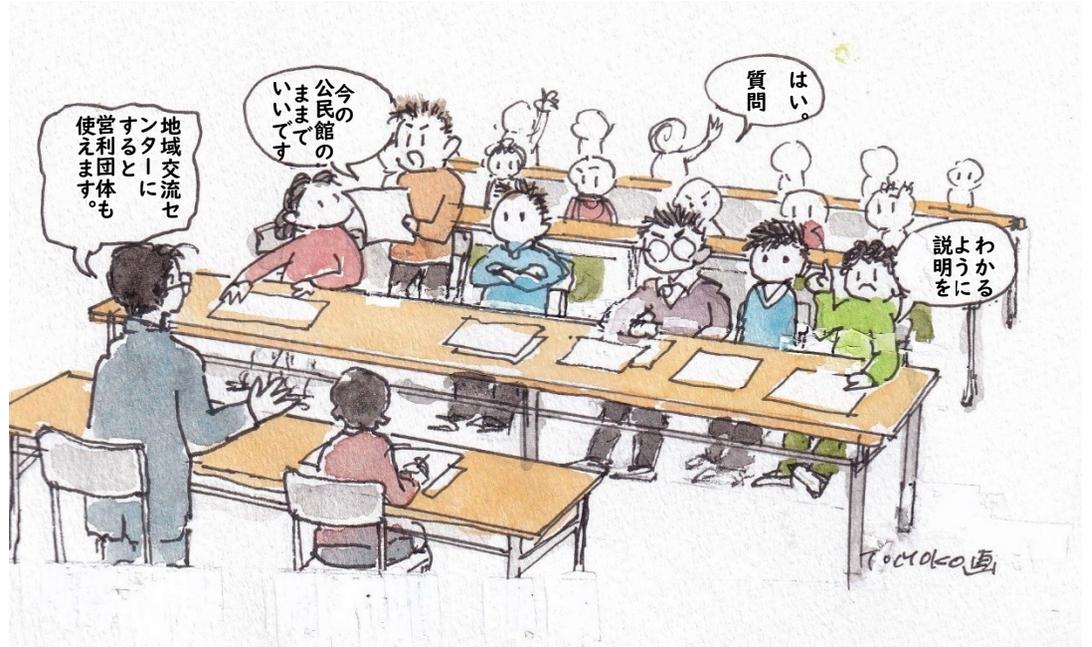
facebook



みんなの会HP

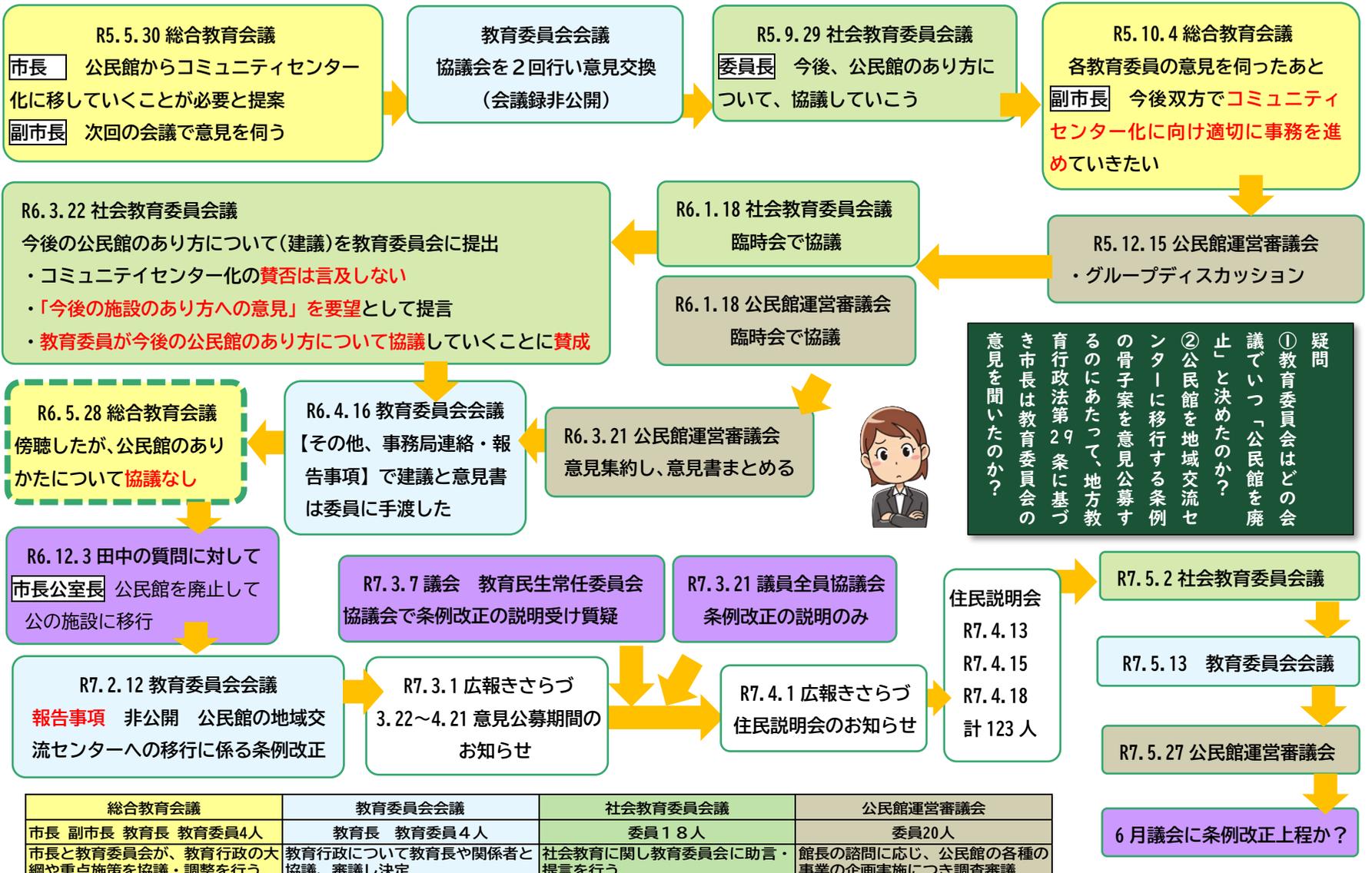
12月議会での答弁
 「公民館を廃止して
 地域交流センターに!」

いつ、どの会議で
 公民館を廃止と決めたのか
 これはとても重要なことです



絵/市原市在住 元県議会議員の山本友子さん

「公民館を廃止して地域交流センターにする!」 これまでの経過



市民目線で暮らしと政治をつなぐ



フレコンパック詰め汚染土は、福島県外で再生利用の現状と課題
福島原発震災情報連絡センター 被災地スタディツアー報告 2025.4.24~25

福島県では、いまだ緊急事態のときの放射線量の基準、年間20ミリシーベルトのまま(福島県以外は年間1ミリシーベルト)です。2011年3月11日の地震と津波のあと、福島第一原子力発電所では3つの原子炉が同時にメルトダウンを起こす世界最悪レベルの事故となり、放射能が拡散されました。

除染作業で高線量の土はフレコンパックに詰め込み、中間貯蔵施設(福島県)で保管していました。しかし、あまりにも多いので、それを減らすために、掘り出した被ばくしていない土と混ぜて低線量にした土を再生利

用する事業を環境省は進めていることを知りました。

汚染土は、除染土→除去土壌と言い換えられ、「再生資材」となり、全国に拡散されます。今は実験段階で、道路の下に埋めるとか、畑の下に埋め、作物を育てる実験をしていることを「中間貯蔵事業情報センター」で紹介していました。

▶写真 いまだ帰還困難区域の大熊町 双葉病院



暮らしに香る本シリーズ ⑩
どうせ死ぬんだから

和田秀樹

私はこの題名が嫌いで、新聞などで毎日宣伝している本を買うつもりはなかった。でもある日、友人が回してくれてコロナ禍の暗い気持ちにちょっと元気が出た。世間では健康に悪いからラーメンの汁は残そうと言うのに、①体にいいものよりラーメン週5 ②金持ちより思い出し持ち ③医者言葉より自分の体の声を聴こう ④終活なんかいらぬ ⑤死ぬ時ぐらい迷惑をかけようと、言いたい放題。

でもこれを読み終えた私達夫婦は「富士山一周めぐり」のバスツアーで一日遊んだ。

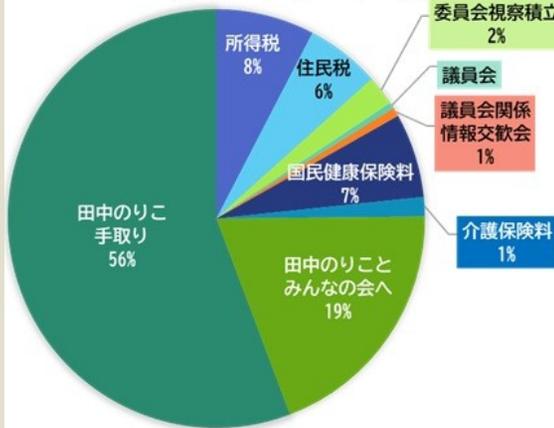
私はコロナが始まってすぐ、いくつものお稽古ごとをやめ、家に閉じこもる生活を始めた。コロナもこわかったけれど、私がひとにうつしたら、と想像しただけで足が止まった。

そんな生活を5年近く続けていたら、我ながら頭も身体もさびついてきたと感じ、この状態で寿命だけ続いたら怖いと思い始めていたところだった。(宮下)

田中のりこの議員報酬の使い道

議会速報(年4回)、通信(年4回)発行しています。

田中のりこ報酬762万7,500円内訳
(令和6年1月から12月)



田中のりこみんなの会 令和6年 主な支出

人件費	25.7万円
議会速報や通信発行	107.1万円
宣伝事業費(HP更新)	7.7万円
調査・研究費(決算審査小冊子)	5.2万円
その他	5.8万円

教育のひろば

教育現場の教師からのつづやき⑨

決意 新たに学ぶ

今年もまた、新入生を迎える季節が来ました。そして、今年も3月の寒さのお陰で満開の桜のもとでの入学式となりました。毎年“例年にない…”を繰り返しているの、例年通りがどうだったのか忘れてしまいそうです。

新年度になり、ひと月ほどが過ぎ、新しいメンバーで学校が動いています。昨年は案内して貰っていた生徒が、今年は新入生を案内しています。成長している姿に嬉しさ全開です。今年も沢山の生徒たちと『はじめまして』の挨拶をして、授業がスタートしました。

教科書を読むだけでは伝わらない事を伝えるのが、私たち教師の仕事だと思っています。1年後、伝えるべき答えを全部伝えられているかしら。世の中の動きにキチンと目を向けられる人に育てられているかしら。自立した大人になれる様に指導できているかしら…などなど、気掛りなことは、沢山あります。

まずは、私自身が学ぶ姿を見せるところから始めようと決意新たに2025年の春です。生徒たちのために、自分自身のために、学ぶぞ〜!

(YAPPY)



「開発行為等に関する環境問題を考える会」報告会開催 2025.4.8

木更津市議会の議員会では、5人以上で部会を設置することができます。そこで、開発行為等の問題を地域で抱えている石井徳亮副議長、三上和俊議員、渡辺厚子議員、神蔵五月議員と田中で会を立ち上げ、2023年11月よりこれまで10回の会議を行いました。開発行為等で指導中の案件の現状と課題を洗い出し、他市の条例等も参



考に調査研究し、今後、市内で同じような事案が増えないようにするには、事後の対策強化だけでなく、未然に防ぐことを重点に置いた条例改正が必要という結論に至りました。

この問題を解決するには、多くの議員と情報共有し、議会として条例改正に向けた一歩が踏み出せたらと考え報告書にまとめ、議員会のよびかけで報告会を開催しました。そして、報告書を関係各課に届けました。報告書が条例改正に活かされればと願っています。

●△◆お知らせ伝言板○▼◇ 070-2172-8480(予約・連絡・活動用)

公民館の存続を求める学習集会
予約不要。
5月11日(日)14:00~16:00
中央公民館アクアB館3F多目的室
主催/公民館と図書館を考える会

みんなのおしゃべり会
予約不要。暮らしの中で気になること、お話ししましょう。
5月21日(水)10:30~
場所 八幡台公民館 学習室

きみさらず聖苑 見学会
要予約。火葬現場の今事情も知りたい、新しくなった火葬場見学
6月23日(月)9:50集合
集合場所 きみさらず聖苑駐車場



休耕田を減らしたい! みんなでおコメをつくろう 活動報告①

前号で米作り体験を募集したところ有志が集まりました。

賛同くださったのは上烏田の鈴木さん。米作りの近況を紹介。



3/23 田へ川の水を通すため、1.6kmほど3時間かけて水利管理する皆さんと溝の泥や草を掻き出す。トウキョウサンショウウオ卵も発見。



4/9 田を耕し、水を入れるのを見学

4/25 あげ道の草刈



4/26 平らに耕すのを見学

5/3 田植え体験
5/11 溝周りの草刈り体験